

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 28 年 2 月 16 日

(平成 28 年 2 月 17 日 更新)

理事長 松山 良一

訪日外客数 (2016 年 1 月推計値)

◇1 月 : 訪日外客数 / 前年同月比 52.0%増の 185 万 2 千人

- 2016 年 1 月の訪日外客数は、前年同月比 52.0%増の 185 万 2 千人であった。2015 年 1 月の 121 万 8 千人を 63 万人以上上回り、1 月としての過去最高を記録した。また、単月としても、昨年 7 月の 191 万 8 千人に次いで過去 2 番目の数値となった。

主な要因としては、アジア地域での学校休暇による訪日旅行者数の増加と、欧米豪地域における航空路線の拡大、燃油サーチャージの値下がりを受けた訪日需要の拡大が挙げられる。

また、継続的な訪日旅行プロモーションや、円安による割安感の定着、ビザの大幅緩和、消費税免税制度の拡充等による効果も、訪日旅行者数の増加を後押ししている。

- 市場別では、中国が学校休暇期間の前倒し (2016 年 : 1 月 20 日頃からの約 1 か月、2015 年 : 1 月末からの約 1 か月) やクルーズ需要の増加を受けて、前年同月比 110%増 (2.1 倍) の 47 万 5 千人を記録。1 月として過去最高となった。

また、韓国が同市場として初めて単月で 50 万人を超える 51 万 5 千人を記録し、豪州と共にそれぞれ単月として過去最高を更新した。

その他には、ロシアを除く 16 市場が 1 月として過去最高を記録した。

- 2 月は、アジア地域において旧正月の休暇時期を迎えることから、2015 年からの傾向を踏まえれば、訪日旅行者数の増加が期待される。

* 月別推計値と 2003 年以降の訪日外客数は、下記のリンクからダウンロードできます。

月別推計値 :

http://www.jnto.go.jp/jpn/news/data_info_listing/pdf/160216_monthly.xls

国籍/月別 訪日外客数 (2003 年~2016 年) :

http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/visitor_trends/pdf/since2003_tourists.xls

最新の市場動向トピックス :

http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/basic.html

※ 1 月のトピックスは 2 月末頃に掲載予定

お問い合わせ先 :
インバウンド戦略部 調査・コンサルティンググループ
TEL : 03-3216-1901



平成28年 訪日外客数・出国日本人数

2016 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization(JNTO)

平成28年2月16日
16/Feb/2016

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成27年 2015	平成28年 2016	伸率 Change %	平成27年 2015	平成28年 2016	伸率 Change %
1 Jan.	1,218,393 (978,476)	* 1,851,800	* 52.0	1,235,612	* 1,276,000	* 3.3
2 Feb.	1,386,982 (1,207,242)			1,257,154		
3 Mar.	1,525,879 (1,236,489)			1,534,026		
4 Apr.	1,764,691 (1,528,848)			1,144,833		
5 May	1,641,734 (1,411,626)			1,262,103		
6 Jun.	1,602,198 (1,398,845)			1,190,806		
1~6 Jan.-Jun.	9,139,877 (7,761,526)			7,624,534		
7 Jul.	1,918,356 (1,712,803)			1,309,957		
8 Aug.	1,817,023 (1,584,484)			1,653,622		
9 Sep.	1,612,208 (1,346,488)			1,525,777		
10 Oct.	1,829,265 (1,564,772)			1,412,466		
11 Nov.	1,647,550 (1,399,516)			1,339,246		
12 Dec.	* 1,773,100			1,348,161		
7~12 Jul.-Dec.	* 10,597,500			8,589,229		
1~12 Jan.-Dec.	* 19,737,400			16,213,763		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 平成27年1月～11月は暫定値、*部分は推計値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: 訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Jan. - Nov. 2015 are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2016年1月 訪日外客数（JNTO推計値）

Visitor Arrivals for Jan. 2016 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2015年 1月	2016年 1月	伸率(%)	2015年 1月～1月	2016年 1月～1月	伸率(%)
総数	Grand Total	1,218,393	1,851,800	52.0	1,218,393	1,851,800	52.0
韓国	South Korea	358,093	514,900	43.8	358,093	514,900	43.8
中国	China	226,214	475,000	110.0	226,214	475,000	110.0
台湾	Taiwan	217,035	321,000	47.9	217,035	321,000	47.9
香港	Hong Kong	87,742	125,000	42.5	87,742	125,000	42.5
タイ	Thailand	44,770	61,100	36.5	44,770	61,100	36.5
シンガポール	Singapore	11,813	15,100	27.8	11,813	15,100	27.8
マレーシア	Malaysia	12,312	19,800	60.8	12,312	19,800	60.8
インドネシア	Indonesia	9,683	13,700	41.5	9,683	13,700	41.5
フィリピン	Philippines	14,428	18,800	30.3	14,428	18,800	30.3
ベトナム	Vietnam	12,266	14,800	20.7	12,266	14,800	20.7
インド	India	7,771	9,600	23.5	7,771	9,600	23.5
豪州	Australia	48,583	56,100	15.5	48,583	56,100	15.5
米国	U.S.A.	62,081	75,900	22.3	62,081	75,900	22.3
カナダ	Canada	14,250	17,700	24.2	14,250	17,700	24.2
英国	United Kingdom	15,030	17,600	17.1	15,030	17,600	17.1
フランス	France	10,035	12,100	20.6	10,035	12,100	20.6
ドイツ	Germany	8,325	9,700	16.5	8,325	9,700	16.5
イタリア	Italy	4,168	5,200	24.8	4,168	5,200	24.8
ロシア	Russia	4,024	4,300	6.9	4,024	4,300	6.9
スペイン	Spain	2,501	3,000	20.0	2,501	3,000	20.0
その他	Others	47,269	61,400	29.9	47,269	61,400	29.9

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2015年の数値は暫定値、2016年の数値は推計値である。

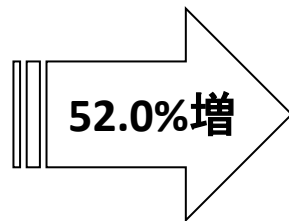
◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

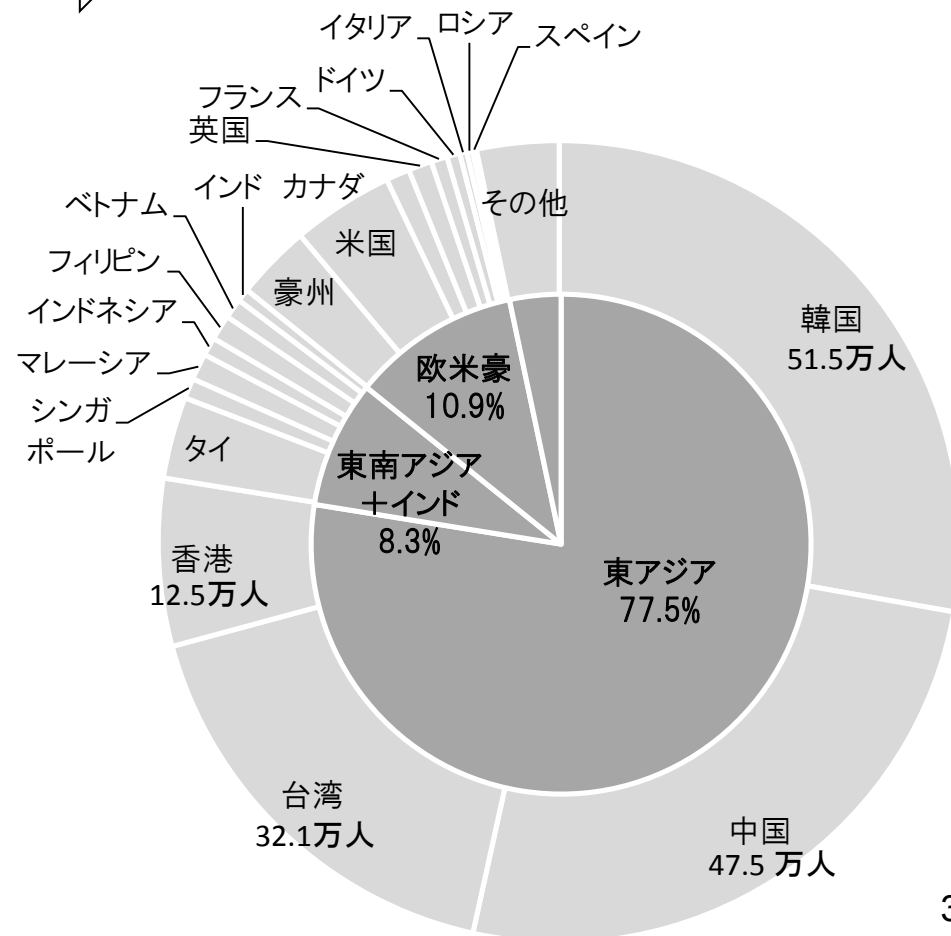
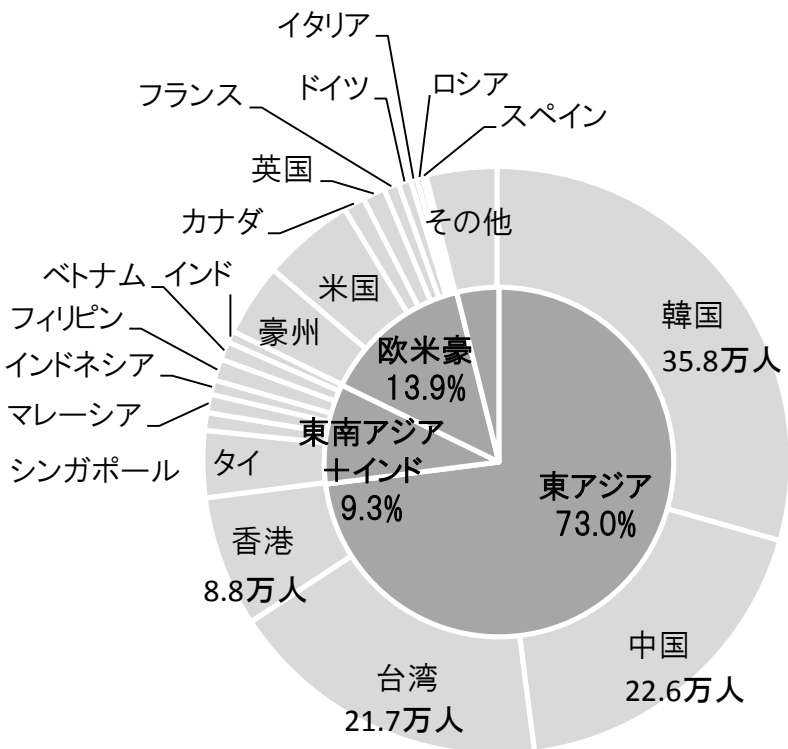
◆Note 2. Above figures for 2016 stand for the preliminary ones estimated by JNTO.

訪日外客数のシェアの比較 2015年/2016年

2015年1月
121万8千人



2016年1月
185万2千人



地域別訪日旅行市場の概況

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、前年同月比 43.8%増の 514,900 人で、単月として過去最高を記録。初めて単月 50 万人を超え、2 か月連続で最大市場となった。1/1 からの 3 連休が訪日動機の一つとなった他、安定した為替水準や航空路線の拡充も追い風となった。温泉地が豊富な九州地方や沖縄など温暖な旅行先に人気があり、今冬ダイヤでの釜山発九州・沖縄路線の拡充が旺盛な需要を吸収した。また、オンライン旅行会社（OTA）が韓国で初めてオンライン上で旅行博を開催（11/9-11/29）、JNTO ソウル事務所でも、バナー広告の掲載を通じて訪日関連情報の発信を強化した。
- **中国**は、前年同月比 110.0%増の 475,000 人で、1 月として過去最高を記録。クルーズ船寄港数の増加（4 隻：約 6,800 人→24 隻：約 76,800 人）や航空路線の拡充（深圳-成田線、成都-成田線、南通 - 名古屋線等）に加え、学校休暇の開始が昨年より約 1 週間早まり、1 月となったことによる家族旅行需要の増加が数字を押し上げた（昨年の冬休み需要は主に 2 月）。この時期は、雪の観賞や雪遊びを目的とした北海道での滞在に人気がある他、温泉や買い物も訪日旅行の大きな誘因魅力となっている。旅行会社等へのヒアリングでも、JNTO が訪日旅行プロモーションを強化している個人旅行者（FIT）の増加も顕著とのことであり、1 月の訪日需要増加を支える原動力となった。
- **台湾**は、前年同月比 47.9%増の 321,000 人で、1 月として過去最高を記録。1/1 からの 3 連休により年末年始の旅行需要が高まった。一方、1/16 に実施された台湾総統選挙や 2/6 からの旧正月休暇を前に一部旅行控えが発生したが、格安航空会社（LCC）の相次ぐ新規就航と増便、当該航空会社との共同広告事業が価格に敏感な消費者を刺激し、1 月の訪日者数を押し上げた。昨年 12 月からは、1 月以降の需要喚起を狙い、台湾の人気女優を起用して東北地方を訴求する訪日旅行プロモーションを展開した。
- **香港**は、前年同月比 42.5%増の 125,000 人で、1 月として過去最高を記録。例年 1 月はクリスマス休暇と旧正月休暇の狭間で、海外旅行はオフシーズンとなるが、今年は、折からの航空路線の拡充の他、価格が高騰するピーク時を避けての旅行需要もあり、訪日旅行者数は好調に推移した。なお、今後に向けては、昨年 12 月には、旅番組「進撃昇龍道」の放送を通じた中部・北陸地方の訴求や（平均視聴率 18.7%）、旅行雑誌「飲食男女」東北招請による同誌 1 月号への特集掲載（8 ページ）のなどにより、地方への誘客を強化している。

② 東南アジア

- **タイ**は、前年同月比 36.5%増の 61,100 人で、1 月として過去最高を記録。FIT が高い割合を占めるタイでは、LCC を利用したツアー商品が人気で、旅行先の多様化と企業間の価格競争が進んでいる。こうした市場の動きを捉え、JNTO ではタイ語 facebook を通じた FIT 向けの情報発信や、駅や主要交差点など訴求力の高い場所を活用したタイ・エアアジア X との共同広告の実施などにより、1 月の需要増加に努めた。今後に向けては、日本の桜開花とタイ市場最大の旅行シーズンであるソンクラーン休暇を見据え、「Japan Story」キャンペーンを

展開。2月からはキャンペーン特設サイトで、日本行きチケットが当たるゲームなどを実施し、更なる需要増加を図っている。

- シンガポールは、前年同月比 27.8%増の 15,100 人で、1月として過去最高を記録。12月発券分からの燃油サーチャージの値下がりに加え、OTA と連携した格安訪日旅行商品の販促も追い風となった。また、閑散期となる1月-2月の需要喚起を図るため、日本での大型ショッピングイベント「Japan Shopping Festival」の開催（12/1-2/29）に向けて、10月末よりシンガポールにてガイドブックの配布を行い、ショッピングをフックとした訪日魅力を訴求した。また、1/18には日星外交関係樹立 50 年を記念して、観光交流促進のための協力覚書の調印式を行ったことから、今後、両国間の更なる交流が促進されることが期待される。
- マレーシアは、前年同月比 60.8%増の 19,800 人で、1月として過去最高を記録。従来、1月は学校休暇と旧正月休暇の狭間で閑散期となるが、旅行博「MATTA フェア」（昨年9月）での販促活動や、エアアジア X のセールスプロモーションなどが奏功し、訪日需要は好調であった。観光庁の宿泊旅行統計によると、エアアジア X の新千歳線が就航した昨年10月以降、北海道に宿泊したマレーシア人は10月、11月共に前年同月比で2倍以上の伸びを示しており、この勢いが1月の訪日需要にも影響を及ぼしたと考えられる。
- インドネシアは、前年同月比 41.5%増の 13,700 人で、1月として過去最高を記録。経済成長の鈍化や個人消費の落ち込みが続いているが、「Garuda Travel Fair」（昨年9月）、「Japan Travel Fair」（昨年11月）など旅行博での販促活動をはじめとした様々な訪日旅行プロモーションや、かねてからの円安傾向が訪日旅行需要を後押しした。また、昨年12月からの日系航空会社2社による燃油サーチャージの無料化も、訪日旅行に対する割高感の払拭に貢献した。なお、1/14にジャカルタ市内で爆破テロが発生したが、訪日需要への影響は見られていない。
- フィリピンは、前年同月比 30.3%増の 18,800 人で、1月として過去最高を記録。セブ・パシフィック航空のマニラ-福岡線の新規就航（12/17、週3便）と、これに合わせた旅行会社・出版社の招請旅行事業などの訪日旅行プロモーションが1月の需要増加に貢献した。例年、年末年始後のこの時期は、学校の新学期とも重なり閑散期となる。このため、閑散期対策のひとつとして、マニラ首都圏で富裕層及び中間層をターゲットにした訪日旅行促進イベント「JAPAN Travel Festival (1/9-1/10)」を開催し、消費者に直接日本の冬の魅力を訴求した。
- ベトナムは、前年同月比 20.7%増の 14,800 人で、1月として過去最高を記録。これまでの好調な訪日旅行商品の販売に加え、2/6より始まる9日間のテト（旧正月）休暇を前にした前倒し需要や、1/26-2/24 の期間限定で増便された航空便※がこの需要を押し上げたと考えられる。今後に向けては、日本の雪への関心の高まりを受け、1月中旬には、冬の魅力を訴求するためハノイのショッピングモールで消費者向けイベントを開催。併せて、販売側の意欲向上を狙いハノイとダナンで現地旅行会社向けセミナー等を行った。また、日本政府は、2/15から訪日ベトナム人のうち、商用目的の方や文化人・知識人に対する短期滞在数次ビザの緩和措置を開始。有効期間も最長10年まで延長される。

※当該期間の航空便の増便は実施されなかったことが確認されました。（2016/3/10 現在）

- インドは、前年同月比 23.5%増の 9,600 人で、1月として過去最高を記録。昨秋招請した旅行会社を対象としたフォローアップセミナー開催などの取り組みにより、訪日旅行商品の造成や販売が活発に行われている。また、1/11よりインド国民に対する短期滞在数次ビザが大

幅に緩和された。発給要件の緩和に加え、滞在期間が最長 30 日、有効期間が最長 5 年に延長されるもので、2/15 から発給対象者の範囲が更に拡大され、有効期間も最長 10 年まで延長される。

2. 豪州、北米

- **豪州**は、前年同月比 15.5%増の 56,100 人で、単月として過去最高を記録。昨年 8 月就航のカタス航空のブリスベン-成田線、シドニー-羽田線に加え、12/11 に開設された ANA のシドニー-羽田線が、この時期増加するスキー需要を後押しした。昨年 5 月に豪州 3 都市で開催されたスノースポーツに特化した旅行見本市「Snow travel expo」への出展に加え、スキー専門の旅行会社による訪日視察を支援した。最近では、スキーと一般観光を組み合わせた滞在が人気を集めていることから、JNTO では、スキーリゾート以外の地域への視察も支援している。
- **米国**は、前年同月比 22.3%増の 75,900 人で、1 月として過去最高を記録。従来 12 月-2 月は訪日需要が落ち着く傾向にあったが、安定した為替水準と燃油サーチャージの無料化、航空路線の拡充などにより、22 か月連続で当該月の過去最高を更新した。中でも、日米路線拡充によるアクセスの向上は、訪日市場の拡大において強力な追い風となっている。昨年 11 月に就航した JAL のダラス・フォートワース-成田線は米国内及び中南米エリアからの需要開拓、2/11 に就航したアメリカン航空のロサンゼルス-羽田線は潜在的旅行者の訪日意欲喚起の点で、今後の需要増加に寄与するものと期待される。
- **カナダ**は、前年同月比 24.2%増の 17,700 人で、1 月として過去最高を記録。12 か月連続で 20%以上の伸びを維持した。航空座席供給量の減少による訪日需要への影響が心配されたが、その他には特段のマイナス要因もなく好調に推移した。Conference Board of Canada の統計によると、昨年 1 月-11 月期のカナダ人の渡航先では、中国、香港、タイなど他のアジア諸国が一桁成長に留まる中、日本は前年同期比 26.8%と大幅に伸びており、旅行先としての日本の認知度が高まっていることが窺える。今後に向けては、既に春以降の需要喚起を念頭に置いた訪日旅行プロモーションを進めている。

3. 欧州

- **英国**は、前年同月比 17.1%増の 17,600 人で、1 月として過去最高を記録。比較的低廉な航空券価格と英国経済の改善等による消費意欲の向上が、安定した需要を維持している大きな要因である。また、旅行博への出展やメディア支援など継続的な訪日旅行プロモーションにより、スノーリゾートとしての日本の認知度が徐々に高まっている。2 月も引き続きスノースポーツの需要が見込まれるとともに、昨年 12 月-1 月にかけて、英航空会社や大手 OTA との共同広告を展開したことも、訪日客数を押し上げることが期待される。
- **フランス**は、前年同月比 20.6%増の 12,100 人で、1 月として過去最高を記録。昨年末に発生したパリの同時多発テロによる影響はみられなかった。JNTO では、昨年 10 月に日系航空会社と連携し、キャンペーン価格での日本行き航空券を活用した共同広告をフランス諸都市の地下鉄等に掲載した。この取り組みは、フランス国内での日本の露出を増加させただけでなく、仏航空会社による日本行き航空券の値下げも誘引したと考えられ、かねてからの円安傾向に加え、1 月の訪日需要に貢献した。
- **ドイツ**は、前年同月比 16.5%増の 9,700 人で、1 月として過去最高を記録。1 月は団体旅行の

設定が少なく、FIT が需要の大半を占める。独語ローカルサイト上でも、日本での両替や現金引き出しに関する記事の閲覧が前年比で 97.33%増加するなど、日本滞在中における具体的な情報への関心が高かった。ドイツ市場では、スキーやハイキング、サイクリングなどアウトドアを目的とした訪日人が人気であることから、今後に向けては旅行会社招請や旅行博への出展などを通じ、こうしたアクティビティへのニーズに対応した情報発信にも努めていく。

- **イタリア**は、前年同月比 24.8%増の 5,200 人で、1 月として過去最高を記録。旅行博への出展や日系航空会社との共同広告事業、旅行会社向けセミナーの開催など、継続的な訪日旅行プロモーションの実施が着実に訪日意欲の喚起に結び付いている。昨年 5 月に開設した伊語 Facebook 上での情報発信にも力を入れており、2/1 時点で約 2,300 人にフォローされている。イタリアでは、昨年開催されたミラノ国際博覧会などを契機として日本の露出が増加しており、訪日機運の醸成による更なる需要増加が期待される。
- **ロシア**は、前年同月比 6.9%増の 4,300 人で、1 年 2 か月ぶりにプラス成長に転じた。JNTO が視察や共同広告により支援した旅行会社をはじめ、複数の現地旅行会社からスキーを目的とした送客があり、需要を上乗せした。しかし、露経済の低迷や露政府による国内観光支援策等により、依然として海外旅行需要自体が少ない状況が続いている。既に多くの航空会社がロシアへの直行便の減便や撤退を行っているが、粘り強い訪日旅行プロモーションにより、今後も需要の維持及び増加に尽力していく。
- **スペイン**は、前年同月比 20.0%増の 3,000 人で、1 月として過去最高を記録。為替水準の安定やスペイン経済の回復基調の他、マドリードで開催された欧州最大級の国際旅行博「FITUR (1/20-1/24)」への出展など、訪日旅行プロモーションの実施も需要増加に貢献した。なお、FITUR では、ビジット・ジャパン (VJ) ブースが運営やデザインの面で高く評価され、スタンド賞を受賞。ブース自体も会期中の集客や訪日魅力の訴求に貢献したものと考えられる。スペインでは、昨今の訪日機運の高揚を受けて、訪日旅行商品の取扱いを始めた現地旅行会社もあり、今後の動向が期待される。

2016年 訪日外客数(総数)

出典: 日本政府観光局(JNTO)

* 本表で、通年の月別・市場別の推移が確認できます。伸率は前年同月比を表しています。

単位: 人数(人)、伸率(%)

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率	
総数	1,851,800	52.0																							1,851,800	52.0	
アジア計																											
韓国	514,900	43.8																							514,900	43.8	
中国	475,000	110.0																							475,000	110.0	
台湾	321,000	47.9																							321,000	47.9	
香港	125,000	42.5																							125,000	42.5	
タイ	61,100	36.5																							61,100	36.5	
シンガポール	15,100	27.8																							15,100	27.8	
マレーシア	19,800	60.8																							19,800	60.8	
インドネシア	13,700	41.5																							13,700	41.5	
フィリピン	18,800	30.3																							18,800	30.3	
ベトナム	14,800	20.7																							14,800	20.7	
インド	9,600	23.5																							9,600	23.5	
イスラエル																											
トルコ																											
ヨーロッパ計																											
英国	17,600	17.1																							17,600	17.1	
フランス	12,100	20.6																							12,100	20.6	
ドイツ	9,700	16.5																							9,700	16.5	
イタリア	5,200	24.8																							5,200	24.8	
ロシア	4,300	6.9																							4,300	6.9	
スペイン	3,000	20.0																							3,000	20.0	
スウェーデン																											
オランダ																											
スイス																											
ベルギー																											
フィンランド																											
ポーランド																											
デンマーク																											
ノルウェー																											
オーストリア																											
ポルトガル																											
アイルランド																											
アフリカ計																											
北アメリカ計																											
米国	75,900	22.3																							75,900	22.3	
カナダ	17,700	24.2																							17,700	24.2	
メキシコ																											
南アメリカ計																											
ブラジル																											
オセアニア計																											
豪州	56,100	15.5																							56,100	15.5	
ニュージーランド																											
無国籍・その他																											

注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

注2: 1月の数値は推計値である。

2015年 訪日外客数(総数)

出典：日本政府観光局(JNTO)

*本表で、通年の月別・市場別の推移が確認できます。伸率は前年同月比を表しています。

単位：人数(人)、伸率(%)

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率		
総数	1,218,393	29.1	1,386,982	57.6	1,525,879	45.2	1,764,691	43.3	1,641,734	49.6	1,602,198	51.8	1,918,356	51.0	1,817,023	63.8	1,612,208	46.7	1,829,265	43.8	1,647,550	41.0	1,773,100	43.4	19,737,400	47.1		
アジア計	1,018,348	32.9	1,200,651	66.2	1,243,295	50.9	1,463,927	52.6	1,384,930	56.5	1,363,207	60.3	1,620,334	56.3	1,570,066	71.8	1,362,193	55.5	1,527,602	51.1	1,390,779	45.6						
韓国	358,093	40.1	321,576	38.9	268,156	39.6	304,619	57.0	315,389	61.5	251,504	21.2	343,799	37.1	390,971	55.5	301,645	38.6	370,842	48.6	359,845	50.5	415,700	53.4	4,002,100	45.3		
中国	226,214	45.4	359,080	159.8	338,121	83.7	405,731	112.9	387,170	133.5	462,248	167.1	576,868	105.1	591,510	133.1	491,201	99.6	445,562	99.6	362,950	74.9	347,100	82.7	4,993,800	107.3		
台湾	217,035	10.2	277,626	45.2	277,934	33.2	335,140	30.0	339,677	20.5	345,243	35.8	361,683	29.5	313,929	36.6	302,897	37.2	343,601	32.0	296,499	25.4	265,800	25.4	3,677,100	29.9		
香港	87,742	38.2	109,384	68.8	117,223	81.8	119,602	50.7	120,626	70.4	137,014	75.4	158,712	74.0	141,466	88.7	115,242	64.9	129,080	66.9	130,776	53.4	157,400	48.2	1,524,300	64.6		
タイ	44,770	64.8	44,038	28.3	92,438	30.0	117,930	18.6	81,015	30.1	43,390	19.5	51,852	20.9	31,289	6.6	34,385	10.7	86,001	8.3	76,145	11.9	93,500	22.6	796,700	21.2		
シンガポール	11,813	8.5	16,293	57.1	23,147	41.3	24,833	33.1	24,593	34.7	29,167	25.2	17,194	31.8	12,616	52.8	18,716	32.4	25,205	25.1	38,205	43.1	67,000	40.1	308,800	35.5		
マレーシア	12,312	-11.8	19,269	36.6	28,193	20.6	29,556	17.4	25,797	14.1	18,525	8.8	19,954	22.8	12,301	23.8	21,307	32.5	28,488	18.6	39,481	42.6	50,300	28.0	305,500	22.4		
インドネシア	9,683	35.8	8,094	24.0	19,542	36.6	23,364	37.9	18,859	27.7	17,119	9.3	25,528	52.0	9,777	15.6	12,855	18.7	16,753	37.5	14,197	24.2	29,300	23.5	205,100	29.2		
フィリピン	14,428	57.5	14,190	89.3	26,786	110.8	36,673	23.4	27,847	44.2	18,619	38.7	16,374	48.4	14,794	28.5	15,843	25.1	25,685	32.2	24,443	53.2	32,700	50.0	268,300	45.7		
ベトナム	12,266	82.9	9,489	27.9	18,736	68.1	28,510	59.4	12,319	56.0	13,043	53.2	15,366	40.0	13,770	44.6	15,569	46.0	21,391	40.5	14,592	40.7	10,300	29.7	185,400	49.2		
インド	7,771	12.8	5,982	20.1	8,228	19.4	9,204	23.7	11,328	15.0	8,588	15.7	8,294	14.6	8,680	23.3	9,098	19.1	9,719	18.5	9,507	14.2	6,700	10.8	103,200	17.3		
イスラエル	671	16.9	722	26.0	3,068	9.1	4,469	28.8	1,693	9.3	1,019	28.3	1,267	23.5	1,125	13.5	3,298	95.0	2,118	-33.1	1,672	7.6						
トルコ	924	-27.1	955	12.0	1,866	78.9	1,822	8.4	1,617	46.1	1,304	6.6	1,453	26.2	1,414	13.4	1,752	52.0	1,515	-15.3	1,595	20.4						
ヨーロッパ計	62,847	10.6	69,706	18.8	118,398	25.5	130,460	8.3	102,667	23.5	82,754	17.1	134,217	34.4	118,791	28.5	102,847	11.9	135,290	14.1	101,704	15.9						
英国	15,030	7.6	17,770	19.8	25,205	25.8	27,049	14.7	19,882	18.0	16,839	12.1	26,340	34.2	20,466	29.4	22,699	9.9	26,221	7.9	21,577	16.8	19,400	14.7	258,500	17.5		
フランス	10,035	9.9	11,951	34.6	18,090	14.6	27,146	22.5	20,324	36.6	13,500	17.3	22,304	19.6	21,199	20.9	15,276	12.3	23,871	18.3	16,277	22.6	14,300	10.2	214,300	20.0		
ドイツ	8,325	13.0	9,815	9.6	18,374	33.6	15,661	2.9	14,340	18.5	10,537	11.8	13,845	18.8	13,405	25.1	14,542	14.3	18,840	14.4	14,723	13.7	10,200	14.2	162,600	15.9		
イタリア	4,168	27.1	4,680	23.2	8,869	35.6	10,402	9.9	7,873	33.7	6,410	29.0	9,963	44.0	16,658	56.2	8,368	19.0	10,192	15.0	7,213	14.1	8,400	23.7	103,200	28.1		
ロシア	4,024	-6.1	2,781	-18.8	5,503	-14.4	5,207	-23.5	4,275	-15.2	3,756	-24.9	5,041	-13.2	4,826	-9.8	4,216	-16.3	5,230	-23.0	5,593	-9.6	3,900	-0.6	54,400	-15.1		
スペイン	2,501	27.5	2,806	30.3	6,330	74.1	5,469	-9.7	5,578	26.6	5,269	51.8	9,843	34.3	13,520	27.6	7,604	14.4	8,381	23.6	5,014	20.5	4,900	46.8	77,200	27.5		
スウェーデン	2,948	17.3	2,662	17.4	5,146	25.6	5,230	-0.9	3,424	16.4	3,685	21.2	5,647	74.4	2,640	18.1	3,097	3.7	5,170	11.6	3,937	10.0						
オランダ	2,145	4.3	2,478	12.1	4,230	19.2	5,037	28.7	4,269	26.7	3,201	21.9	7,219	59.2	3,765	23.4	4,138	17.2	5,730	18.8	4,448	28.2						
スイス	1,677	16.0	1,849	18.1	3,773	36.6	5,476	21.3	3,402	27.3	2,325	21.3	5,573	40.9	3,024	35.2	3,259	6.9	5,025	16.1	2,696	10.2						
ベルギー	1,046	16.1	1,435	41.1	1,982	18.5	2,582	11.3	2,083	26.9	1,520	21.2	3,467	62.4	1,910	38.1	2,045	19.0	2,865	34.2	2,039	27.7						
フィンランド	1,501	5.3	1,401	5.8	2,323	1.5	2,370	12.6	1,739	2.4	1,863	20.3	2,565	72.0	1,196	16.7	1,478	8.7	2,113	-0.7	2,234	43.6						
ポーランド	801	13.6	1,080	49.6	1,775	-0.8	2,805	17.2	2,434	47.2	1,866	71.0	2,662	43.7	2,261	45.4	2,470	38.0	3,160	50.3	2,063	42.3						
デンマーク	1,196	7.2	1,224	9.3	2,578	51.6	1,934	-17.2	1,565	34.2	1,530	20.9	3,428	63.9	1,195	20.8	1,483	13.9	2,733	20.8	1,709	9.9						
ノルウェー	1,114	15.6	1,112	18.2	2,636	84.3	1,448	-39.7	1,042	26.3	1,558	19.8	3,058	71.1	911	19.6	1,307	1.6	1,808	29.3	1,349	13.7						
オーストリア	1,024	16.0	1,100	20.6	1,908	51.3	1,726	-3.3	1,480	23.7	1,075	14.6	1,911	34.6	1,706	34.2	1,613	5.1	1,911	15.1	1,565	11.9						
ポルトガル	777	10.2	1,004	41.6	1,516	39.1	1,571	2.3	1,429	34.7	1,318	16.6	2,160	68.1	2,240	30.6	1,449	26.8	1,769	18.3	1,581	35.8						
アイルランド	936	0.6	930	13.6	1,399	36.1	1,372	6.8	1,097	3.6	1,014	6.5	1,543	37.5	1,184	25.4	1,241	10.2	1,357	7.0	1,169	12.7						
アフリカ計	1,801	-1.6	1,746	20.9	3,273	27.0	2,689	-0.3	2,567	5.4	2,093	-3.8	3,222	54.0	3,328	45.0	3,046	11.2	3,346	-4.1	2,681	-3.5						
北アメリカ計	78,654	5.6	77,636	19.1	121,592	21.5	121,420	13.1	116,842	17.5	122,846	18.5	123,765	20.4	98,376	21.7	97,967	11.8	122,333	17.5	113,534	22.4						
米国	62,081	3.9	59,157	13.7	95,609	18.1	95,891	12.4	92,184	14.7	102,103	16.2	98,201	18.4	76,926	20.4	76,279	10.1	96,208	16.6	88,707	21.1	89,900	22.2	1,033,200	15.9		
カナダ	14,250	10.9	16,304	42.8	21,638	34.6	21,868	23.0	20,708	29.8	16,725	31.5	19,767	25.4	17,758	24.9	17,703	21.8	21,902	23.9	20,797	28.5	22,000	24.3	231,400	26.5		
メキシコ	1,694	25.9	1,678	24.9	3,561	44.7	2,931	-18.2	3,229	27.5	3,356	33.6	4,790	35.4	2,826	35.2	3,139	6.3	3,319	3.5	3,115	19.0						
南アメリカ計	3,998	19.2	3,257	19.9	6,102	11.2	7,308	5.0	5,424	4.8	4,353	11.2	6,684	48.0	4,511	14.5	5,734	5.1	6,517	0.0	5,442	28.0						
ブラジル	2,303	22.0	1,709	30.0	3,423	12.4	4,467	8.1	2,804	-4.0	2,152	-2.4	3,697	42.5	2,072	-2.6	2,795	-8.9	3,332	-8.4	2,485	7.6						
オセアニア計	52,692	28.7	33,925	14.7	33,116	36.6	38,807	11.8	29,241	33.0	26,891	9.0	30,061	24.4	21,880	35.1	40,356	13.9	34,113	22.5	33,328	30.8						
豪州	48,583	30.0	30,303	14.0	29,178	36.8	34,060	12.9	24,827	33.9	22,695	7.7	25,396	26.4	17,878	36.6	34,712	13.3	29,621	23.5	29,463	33.0	49,400	31.4	376,200	24.3		
ニュージーランド	3,932	16.8	3,474	23.9	3,558	33.7	4,545	5.0	4,022	26.5	3,820	18.3	4,344	15.0	3,740	30.6	5,299	18.4	4,137	17.0	3,542	15.1						
無国籍・その他	53	51.4	61	60.5	103	49.3	80	5.3	63	6.8	54	8.0	73	25.9	71	77.5	65	27.5	64	3.2	82	36.7						